



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640

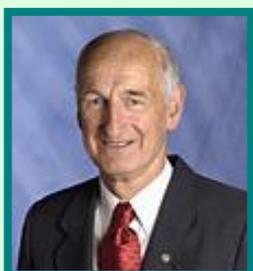
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007.3.1

NO.9

2006～2007年度

「率先しよう」



RI 会長 ウィリアム B. ボイド



ガバナー 三軒久義

目 次

1. ガバナーメッセージ	1
2. 識字率向上月間によせて	2～3
3. 国際協議会雑感	4～6
4. CLPについて	7～16
5. ガバナー補佐として(クラブ訪問記)	17～19
6. クラブ事務職員IT研修会	20
8. 新入会員紹介	21～22
9. 訃報	23
10. ポールハリスフェロー・米山功労者(1月分)	24～25
11. ハイライトよねやま	25
12. ロータリー文庫	26
13. 出席報告(1月分)	27
14. 3月行事予定表	28

3月は識字率向上月間



国際ロータリー第2640地区ガバナー 三軒久義
ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640

FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: http://www.rid2640g.org/sangen/

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 三軒 久義



今年は暖冬で、われわれには暮らしやすかったのですが、季節に関係のある事業や作物を作っておられる方々には大変な打撃のことと存じます。やはり夏は暑く、冬は寒くあるべきでしょう。これが一時的なものなら良いのですが、地球温暖化の影響だとすればこの地球上のすべてが大変なことになるのが心配です。

さて、2月3日の2組(有田 RC)、2月18日の4組(岩出 RC)のIMで当地区の8つの Intercity Meeting が終了しました。本年度は殆どの組で「CLP」が取り上げられました。岩出 RC がホストの4組では日本で最も多くのクラブが取り入れている RI 第 2650 地区(京都・奈良・滋賀・福井)の事務規則委員長の刀根 莊兵衛様(敦賀 RC)がご講演をして下さいましたが、4組では橋本紀ノ川 RC が前向きに取り組んでいるだけでした。CLP に関しては、この月信に当地区の成川パストガバナーが詳しく考察してくれていますので、会長・幹事様のみならず次期の会長・幹事様はじめ全ての会員がお読み下さるようお願いいたします。私の年度は「CLP」の準備期間であると、当初から申して参りましたが、それは成川 PDG も言われているように自クラブの細則を再検討し、自分のクラブに合った細則にして頂きたいと言うことであります。

ところで今月は「識字率向上月間」です。ほぼ100%の識字率をもつ日本では、ここ数年来、RI 会長の強調事項となっている「識字率向上」について関心が薄いのが実情です。RI から示される識字率向上運動のプロジェクトにもあまり意欲が湧かないのは、発展途上国の本当の貧困をわれわれがよく知らないからだと思えます。私の好きな作家の曾野綾子さんの「貧困の光景」という本を読んで、貧困、文盲を救うのは命がけであるということがよく分かりました。それでもそれを承知で出来る範囲の識字率向上につながる奉仕をしなければならないのでしょうか。クラブ宛に「識字率向上のための3分間卓話」の資料をお送りしました。書き損じ葉書による募金もよろしくお願ひします。また「拉致被害者家族支援義捐金」も、あくまで人道的見地に立ち支援していくものですのでご協力お願ひします。また、2006～07年度広報補助金を当地区からも多数の申請が行われましたが、美原 RC と松原中 RC の2件のみが承認されました。ちなみに日本では46件が承認されただけです。やむをえないかと思ひます。

最後になりましたが、IT 委員会のお世話でクラブ事務職員 IT 研修会を2月6、7、8日に開催して頂いたのは大変有意義であったと思われ、IT 委員会と事務職員の皆様に深く感謝いたします。

2月25日には次期の地区チーム研修セミナーが開かれ、いよいよ平原年度の準備が本格的になってまいりました。私の年度はあと3分の1(4ヶ月)となりました。もうひと奮張り頑張ってください。

識字率向上月間によせて

パストガバナー

社会奉仕部門カウンセラー 水田 博史



RI では、1997 年より識字率向上を奉仕活動のプロジェクトに取り上げてきましたが本年度 RI 会長ウィリアム B. ボイド会長も引き続き「識字力こそが、貧困の連鎖から逃れる道です」と強調し本年度の四つの強調事項の一つに「識字率向上」を挙げておられます。ロータリーでは 1997 年度最初の 7 月を「識字率向上月間」と決めましたが本年度からは 3 月を「識字率向上月間」と決めました。

「非識字は貧困の根源であり、読み書き、計算の能力を身につけることが、貧困との闘いで最も有効なひとつである。」と、1997-98 年度のキンロス RI 元会長が云われています。現代社会において、非識字者は社会から置き去りにされて生計をすべて失い、一方貧困はさらに人々の学習の機会を奪って非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

人口問題は、21 世紀の重要課題であります。資源は有限であります。20 世紀初頭の世界人口は、16 億人であったと云われています。現在では 65 億人を突破したと云われています。このペースが続けば 2013 年に 70 億人を突破し、50 年には 92 億人に達すると予測されています。

この世界人口増加の問題の核心は、教育の不足、特に婦人と少女に対する教育であると云われています。現在世界中に読み書きのできない人々はおよそ 8 億 8500 万人おると云われており、その 3 分の 2 は女性であると云われております。少女に読み書きを教えることで、次の世代への低識字率が広がるのを防ぐことができるものと云われています。読み書きのできる母親は、自分の子供に読み書きを教えます。非識字者は字が読めないため就職困難をはじめとし、地域社会に悪影響を与え多くの問題の温床ともなりなります。又、避妊方法が分からず、これが人口増加に繋がります。乳児死亡率が高く、疾病に対する予防や治療にも大きく関わってきます。エイズの危険性も理解できないし予防もできません。貧困と非識字は悪循環を繰り返しているのです。

我々ロータリアンは、低識字率に対する認識を更に深め、これが蔓延するのを防止するために行動を更に深め、世界の貧富の解消と世界の平和を望みたいものであります。

具体的には、この問題に取り組んでいるユネスコに協力するのもひとつではないかと思われます。書き損じハガキ、あまり使われなくなったテレホンカード、コインなど集めることも一つの活動であります。

「率先しよう」のもと私達も積極的に活動しようではありませんか。



国際協議会の報告

国際ロータリー第 2640 地区

ガバナーエレクト 平原 祥彰

2007年1月27日

片道8車線の高速道路を疾走して約2時間ロスアンゼルスからサンディエゴの街にはいりました。カリフォルニアブルーの活気溢れた明るい街。港には巨大な船が3隻泊まっていた。

我々ガバナーエレクト33名は揃って元気に配偶者と共に、国際協議会の開かれるマンチェスターグランドハイアットホテルに到着しました。(大阪北部2660地区新谷ガバナーエレクトは出発の直前に参加出来なくなりました) 国際ロータリーの役員の方々、重田PG、渡辺PG、小沢PG、関場PG、安平PG、松宮PG、藤川PG、の皆さんが、にこにここと迎えて下さいました。固い握手を交わし、大きく声を掛け合いホテルへチェックイン致しました。

夕刻、会長主催の歓迎レセプションが開かれました。明日28日から1週間研修が始まります。時差のこともあり早々に休むことに致しました。

研修は本会議9回、グループ討論10回、毎日まとめのセッション、予習・復習です。配偶者は本会議、グループセッション、円卓会議等々、夫婦共、連日の猛トレーニングでした。

第1回本会議において、会長エレクトから次年度RIのテーマが発表されました。” Rotary Shares” “ロータリーは分かち合いの心” でした。“善き人の人生の中で最良たるもの、それは誰も覚えていないような、名もなき、ささやかな親切と愛の行為”

私たちを感動させる親切心と愛とは、理屈とはかけ離れたものです。それは公式や貸借対照表などでは表すことの出来ないものです。愛と親切心こそがロータリーを可能にしているのです。

ロータリーは私たちの手と心とが成し遂げる仕事を通じて示される愛ゆえに素晴らしいと言えるのです。

ロータリアンとして私たちはただ、口先で人類愛を語るものではありません。ロータリアンである私たちはその愛を実践し、分かち合い互いに助け合うのです。

2007～2008年度のテーマを「ロータリーは分かち合いの心」としました、ステファン・グレン氏の次の言葉を胸に刻んで下さい。

「この人生は、たった一度の旅、私たちに出来るよいこと、私が友にしてあげられる親切なら、どんなことでも今、させて下さい。

再び引き返して来ることが無いのなら、先延ばししたり、なおざりにはしたくない。」

このように結ばれました。

会場は盛大な拍手・総立ちの中、拍手は鳴り止みませんでした。

本会議・グループ討論で論じられ話し合われた、主なテーマは次のようなものです。識字率の向上・水保全・保健と飢餓の救済・ロータリー家族・退会防止・公共イメージの向上・財団・財団のプログラム・3H補助金・マッチンググラント・クラブ支援・人道プログラム・R I 事務局・青少年・危機管理・リーダーシップ・成功のための計画、等々が連日、グループメンバーの組み替えを行いながら27の会場に分かれ言語別に開催されました。

第2回本会議からは、開会前に各国のロータリーソングが歌われます。私たちも“手に手つないで”をステージで合唱いたしました。ウォーミングアップとしては、いい企画だなあ。と思いました。又、国際祭りの夕べの催しに“オテモヤンサンバ”を総出演で発表しました。会場ヤンヤの大拍手でした。ハッピーや鳴る子はR I の役員リーダーの求めに応じプレゼントいたしました。

第8回本会議、青少年をテーマに討論された時、青少年交換学生のスピーチがありました。アメリカ・インディアナ・ブルーミントン・サンライズRCのロータリアン、ページ・ウェティンク元青少年交換学生のスピーチです。彼女は我が2640地区の交換学生として1年を過ごしていたのです。彼女は16歳でした。

彼女のスピーチの要旨

ロータリーは毎年約80ヶ国で世界平和の大儀を推進する7000～8000名の青少年交換学生を送り出しています。文化を学ぶことに、焦点を当てるのは民族主義的な見解を取り入れたり維持したりするのではなく、そういう見解への理解を深めることが目的です。寛容と受容こそ公平に文化を学ぶために必要なのです。

私はこれら世界平和の使者の一人であったことを誇りに思っています。日本では2つのホストファミリーのお宅でお世話になりました。この時の体験が私の想像力に火をつけさまざまな形で私に行動を起こさせました。交換学生として過ごした1年に続き、私は大学で勉強いたしました。国際教育を専門分野に選びました。今は大学に勤務し毎年2000人の留学生を海外に送り出しています。外国の文化を学び、言語を習得し、何を学ぶかを認識し始める若者を援助する仕事は楽しいものです。私が交換学生であったとき、日本で学んだことや日本の人たちが私にしてくれたことを、今私は形を変えてすこししているだけと思っています。

現在や未来の学生にロータリー青少年交換プログラムでしか体験出来ない、人生を変える経験をしてもらいたいと思っているのです。

国際協議会を通じて、国際ロータリーのリーダーたちのスピーチは皆々感動的なものでした。最終の晩餐会で閉会のことばや蛍の光の合唱に涙ぐむ人々がたくさんおりました。一緒に勉強した33名のガバナーエレクトと奥様方とは本当に親切にいただきました。将来に渡って、よき友でいたいと思います。このような感動的な機会を与えてくれたロータリーとロータリアンに心から感謝いたします。

閉会に際し、ウィルキンソンR I会長エレクトは、

「この会場にいらっしゃる皆さん一人一人が責任を引き受けられました。2007～2008年度、この偉大なるわれ等が組織を率先するという責任を引き受けられたのです。私は皆さん全員が、この責任を全うする能力を持っていると信じ、その仕事を見事にやり遂げてくださるものと期待しております。」と言われました。

私は次期地区ガバナーとして全力投球をいたします。そうしなければなりません。

皆さん

私と一緒にロータリーを愛しましょう！

私と一緒にロータリーに奉仕しましょう！

私と一緒にロータリーを分かち合いましょう！

そして

私と一緒にロータリーを楽しみましょう！！

ありがとうございました。



「CLPの一考察」

パストガバナー 成川 守彦



<地区リーダーシップ・プラン>

先ず地区リーダーシップ・プラン（DL P）について、振り返ってみる。

DL Pの導入の経緯は、1992年から5年間に亘り世界12地区で試験的に実施され、1996年全ての地区に対して推奨され、1999年地区分割の際の義務的要件となった。その後2000年には義務的採用が決定され、2002年からDL Pは世界の全地区において義務的实施となった。

DL Pは、日本では完全に実施されているでしょうか？全ての地区は、理事会が概要をまとめたDL Pの構成に準拠して、DL Pを確立するよう要請されている。DL Pは地区レベル、クラブ・レベルで、ロータリーを強化する構想である。クラブへの支援をより迅速に、より綿密にし、より多くの地区指導者を練達に導き、地区ガバナーの候補者の裾野を広げる。更に、R財団や地区活動への参加を活性化し、100以上のクラブを効果的に運営する能力をつけ、地区内でよりよく意思疎通を図る意図を持つものである。

DL Pの地区運営上の組織構成の一般的な特徴は、

- ① ガバナー補佐制度、
- ② 標準の委員会、
- ③ 指導力の継続性を維持する体制（研修）

である。日本ではガバナー補佐制度はほぼ完全に実施されているが、地区委員会組織はDL Pに基づいている地区は少ない。研修委員会は実施の途中にある。

持ち時間が少ないので、**地区委員会**だけについて見てみると、地区委員会はガバナー補佐の助言を得てガバナーが公式に設定する地区目標を実行することを託されており、DL Pによる地区委員会構成は、研修、会員増強、拡大、財務、現行の地区レベルのプログラム、広報、地区大会、ロータリー財団、RI国際大会推進の9委員会である。日本の各地区ではこのような組織図になっていますか？私の知る限りでは日本ではDL Pの委員会組織をとっている地区は数地区のみである。日本の多くの地区は、四大奉仕に基づく地区委員会組織である。

一方、RIが推奨する「地区協議会の議題」では、会長エレクト・幹事・会計という具体的役割と、クラブの管理者・クラブの資金調達活動・クラブの広報・奉仕プロジェクト・ロータリー財団・会員勧誘と入会式・新会員のオリエンテーションと指導顧問という機能別グループに分かれるようになっており、四大奉仕に基づく委員会の委員はどの機能別グループに所属するかが記載されている。

<クラブ・リーダーシップ・プラン>

2003-04年度、CLPは6か国、18のクラブによってテストされ、2004年11月、ロータリー・クラブの推奨された管理組織としてRI理事会によって承認された。同時にCLPに準拠した新しい「推奨ロータリー・クラブ細則」も承認された。

CLPの特徴は、下記である。

- ・ 地区リーダーシップ・プランをクラブのレベルに延長
- ・ プランを施行するためにクラブが取るべき手続きを説明
- ・ 指導者間の継続性と一貫性を支援
- ・ 地区構成により支えられる簡素化されたクラブの常任委員会
- ・ 新しい推奨ロータリー・クラブ細則に反映
- ・ いつでも施行が可能 又CLPの利点は、
- ・ プロジェクトおよび意思決定の継続性
- ・ 意思決定および目標設定の際のコンセンサスを得やすい
- ・ クラブ指導者の活動の場の拡大と強化
- ・ クラブ指導者の継続性
- ・ クラブ活動における全クラブ会員の参加

変更後のクラブ細則では、クラブ委員会構造はこれまでの推奨された18委員会から5委員会になった。これによって、どんな小さなクラブでも、この5つの常任委員会を設置すればクラブ運営は可能となった。

RIの推奨する新しいロータリー・クラブ細則における常任委員会組織は、クラブ管理運営委員会、クラブ広報委員会、会員増強・退会防止委員会、ロータリー財団委員会、奉仕プロジェクト委員会の5つである。

しかし、日本のロータリアンにはこの組織図に抵抗がある。それは「会員増強」と「ロータリー財団推進」が強調されており、「広報はそのための手段ではないか」。そして、「職業奉仕が奉仕プロジェクトの中に入っている」ということである。

<ロータリーと非営利機関>

ところで、皆様の中にボランティアをするためにロータリーに入会した人は何人おられますか？

ロータリーに対する考え方を、アメリカと日本で見てもみると、アメリカでは、ボランティアをするためにロータリーに入会する人が多い。現世における奉仕活動が出来るからである。日本では、ロータリーは人作り（人生道場）であり、奉仕活動も自己研鑽という考えである。日本ではボランティアをするためにロータリーに入会した人はほとんどいない。多くは素晴らしい人と交友を深めたい、友人が入っているから、勉強になるから・・・という理由で入会する。

さて、Official Directory（公式名簿）の最終頁に“A Brief History of Rotary”が書かれている。

その最後に、ロータリー・クラブは、全世界で一つの基本的な考えを持っている。それは、『奉仕の理想』である。それ即ち、他の人への思いやりと人助けである。」とある。ロータリーでいう「奉仕の理想」とは、他の人への思いやりと他の人を助けること、即ち、「慈愛」である。ロータリーの目的は、ロータリー活動を通じて、この「慈愛の心」を持つ人を育て、広めることである。

他方、P.F. ドラッカーは、その著「非営利機関の経営—原理と実践」の中で、「企業は、財やサービスを供給する。政府は統制する。企業は顧客がその製品を購入し代価を払い、製品に満足したときに責務を果たしたことになる。政府はその政策が効果を生じたときに、その機能を果たしたことになる。しかし、非営利機関は財やサービスを供給することもなく、統制することもない。その製品は一足の靴ではなく効果的な規制でもない。その製品は『変革された人間』である。つまり、非営利機関は人間変革機関である。その製品は自尊心をもった成人男女、すなわち、変革された人間の人生そのものである。」と述べている。

ロータリーは「慈愛の心」を持つ人を育て、広めること。ドラッカーは「非営利機関は人間変革機関である。」と述べている。即ち、ロータリーと非営利機関は同じ目的を持つ。

更にドラッカーは、「非営利機関は、使命のために存在する。社会と個人を変えるために存在する。・・・非営利機関には4つのものが必要である。計画が必要である。マーケティングが必要である。人が必要である。そして金が必要である。そして次に、非営利機関には、寄附者の基盤を構築するための戦略が必要である。非営利機関は寄附をしてくれる支持層を開拓しなければならない。・・・非営利機関として、次にとるべき戦略は(軍事戦略と同じく)、味方のトレーニングである。」と述べている。

ロータリーは非営利機関と同じ目的を持つことから、「ロータリーにも計画が、マーケティングが、人が、そして金が必要であり、戦略は味方のトレーニングである。」という考え方から、クラブ・地区の活性化のために、DLPが生まれ、CLPが生まれようとしているのではないのでしょうか？

<CLP>

CLPは奉仕の第2世紀においてロータリーが安定・成長・成功を遂げるために極めて重要であり、ロータリーの綱領を追求するに当たって手続きの標準化と諸活動の方向付けを行うための管理的枠組みをクラブに与えるものである。全てのクラブはCLPを検討し、既に施行されている内容はどれか、又クラブにとって有益な内容はどれであるかを判断するよう要請されている。ガバナー補佐がクラブ指導者を援助しプランの検討や施行を支援する。

CLPは、効果的なクラブの管理上の骨格を提供することにより、クラブ・レベルでロータリーを強くすることを目的としている。新たな管理上の枠組みとなるこのプランは、クラブの指導者が年次目標

と長期的な計画を立て、会員の一人ひとりをクラブのプロジェクトや委員会に関与させるよう推奨するものとなっている。

なお、クラブは、細則の改正とそれに伴うプランの実施を奨励されてはいるが、義務づけられているわけではない。CLPを採用するかどうか、どんな委員会を設置するかどうかは、あくまでも「クラブの自主性」である。

<2006年9月アンケート>

私は、第35回ロータリー・ゾーン研究会の分科会5「CLP」のモデレーターを担当するに当たり、2006年9月、各地区に対して「CLPの現況」をアンケート調査したのでここに報告する。アンケートの内容は下記の通りである。

- 1) 2005-06年度にCLPを導入したクラブ数
- 2) 2006-07年度にCLPを導入したクラブ数
- 3) 2007-08年度にCLPを導入する予定のクラブ数
- 4) 現在までにCLPを導入したクラブについて、導入時の会員数別のクラブ数
- 5) RIの推奨委員会構成と異なるクラブ委員会組織を作成したクラブはありますか？

ある場合は、そのクラブ委員会組織の特徴をお教え下さい。

- 6) ガバナーとして、下記について貴方様のお考えをお聞かせ下さい。

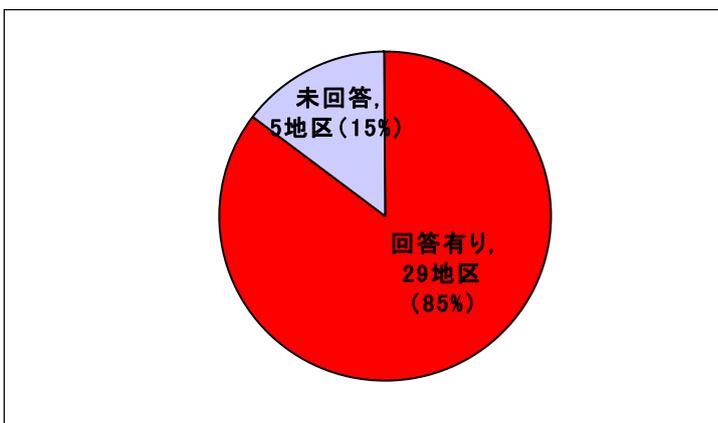
①従来のクラブ委員会組織で、活性化は出来るか？出来ないか？

②CLP導入のメリットとデメリットについて

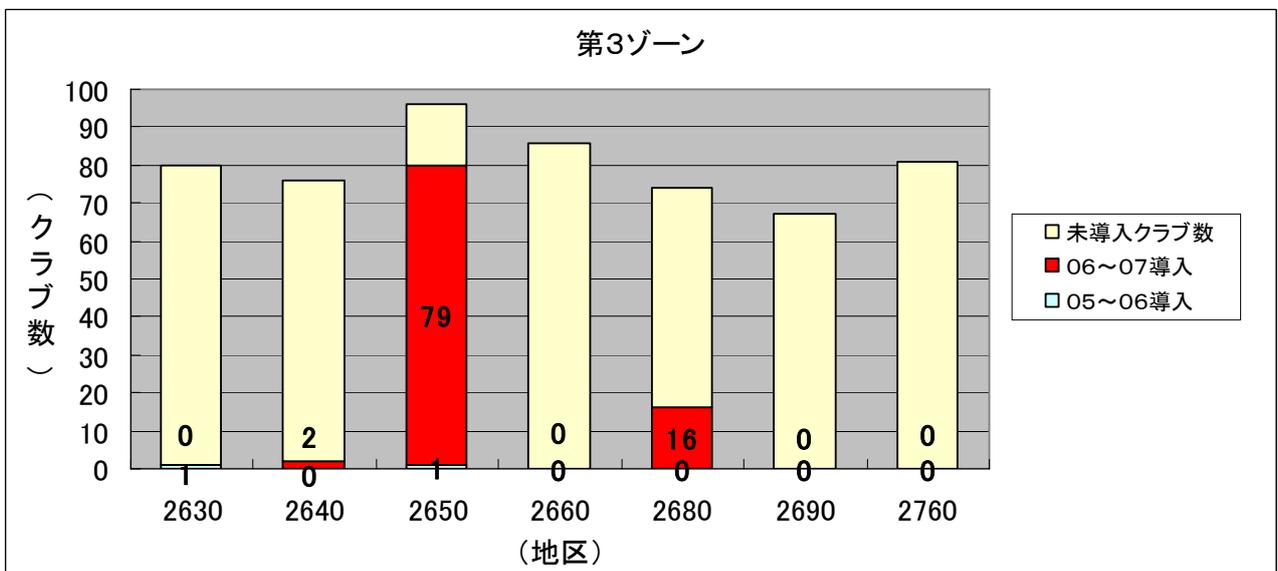
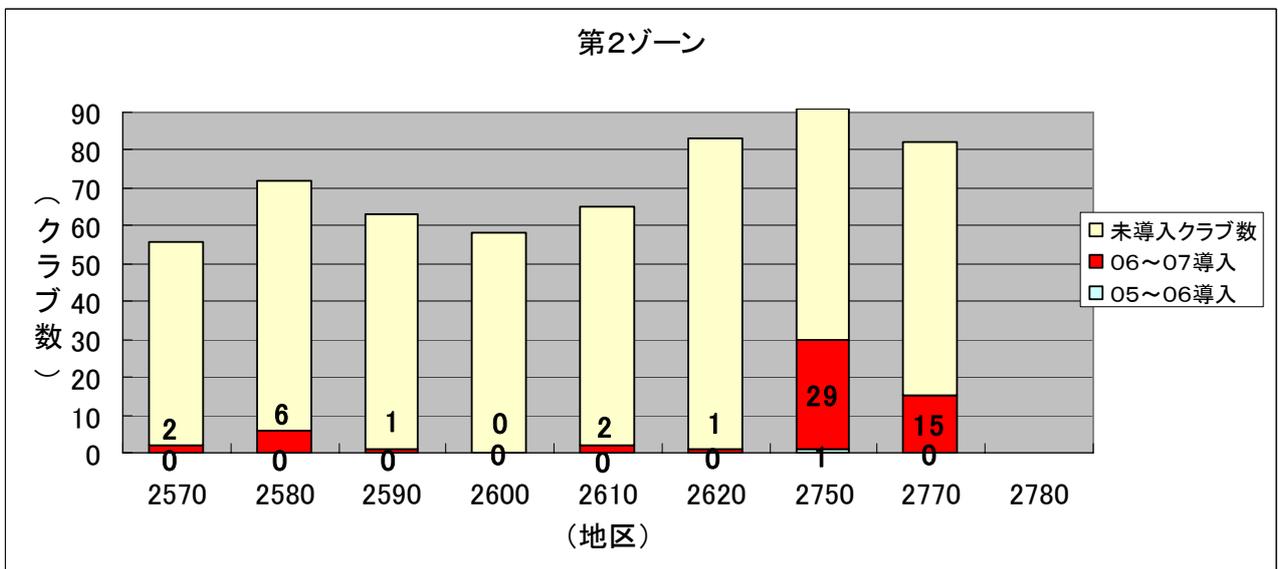
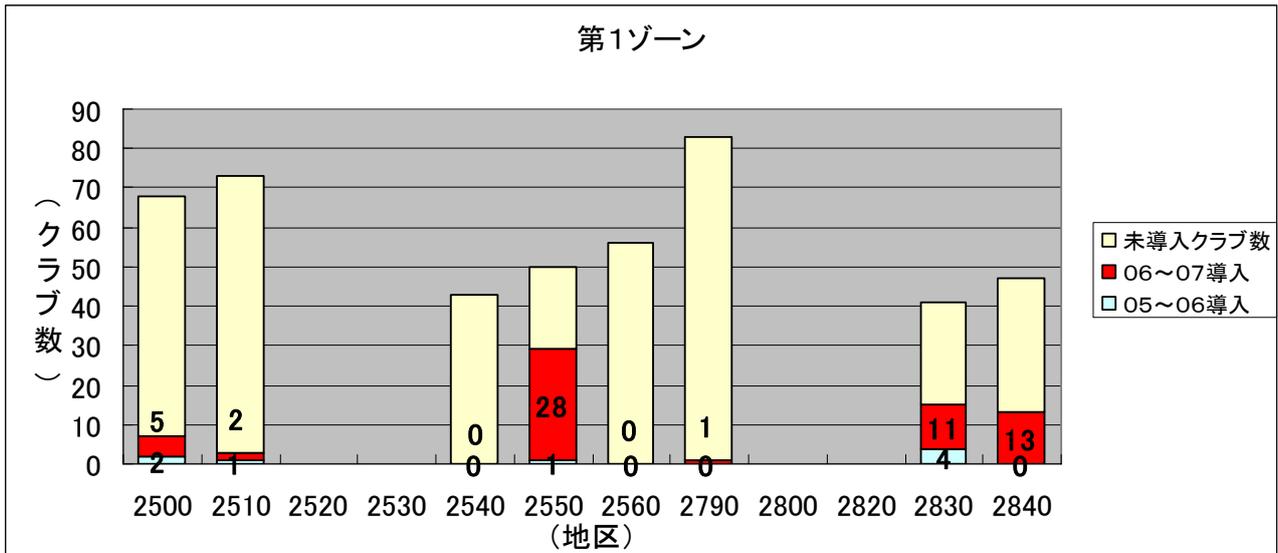
③新委員会組織での活性化の実例があればお教え下さい。

<アンケート結果>

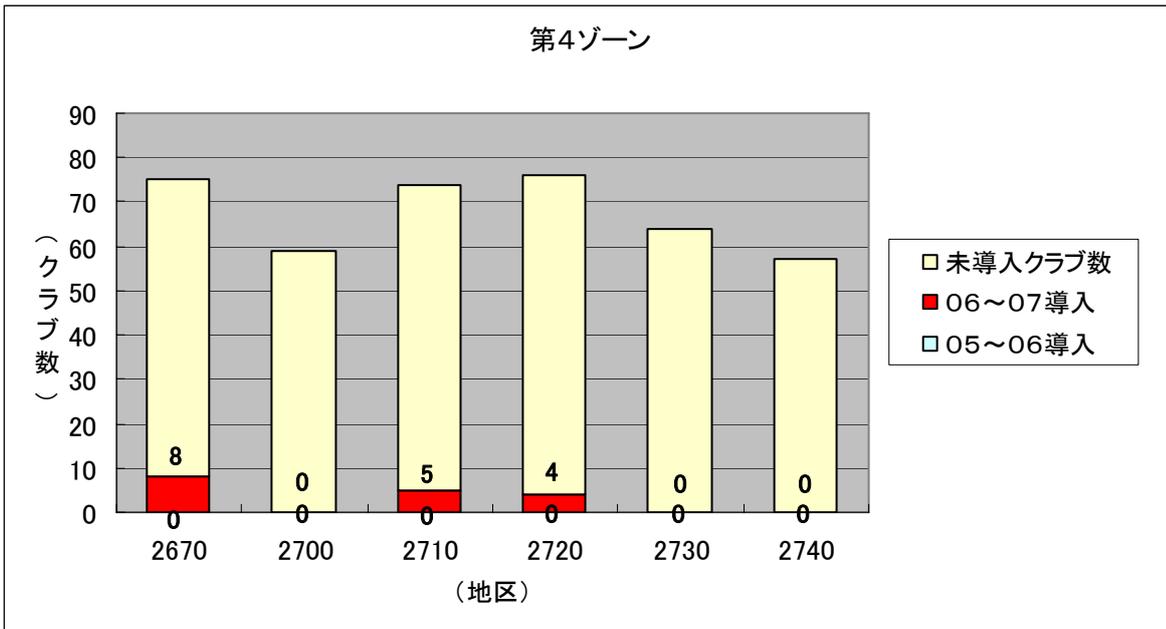
- 1) アンケート回収率



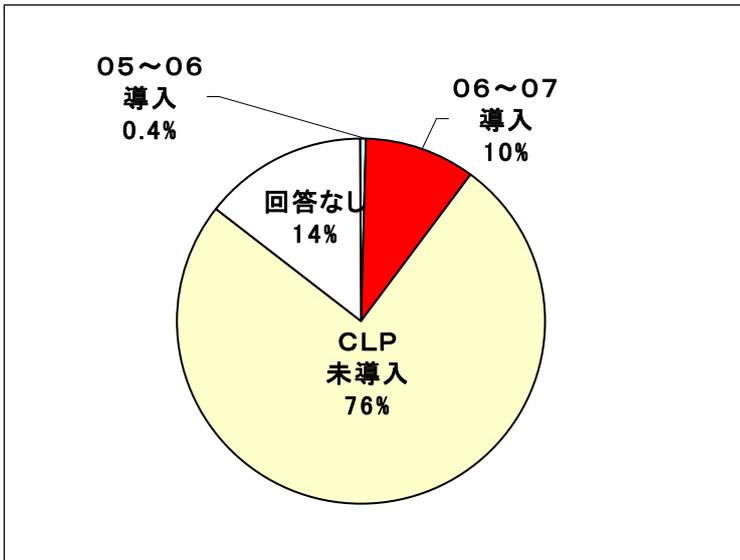
- 2) 2005-06年度、2006-07年度にCLPを導入したクラブ数



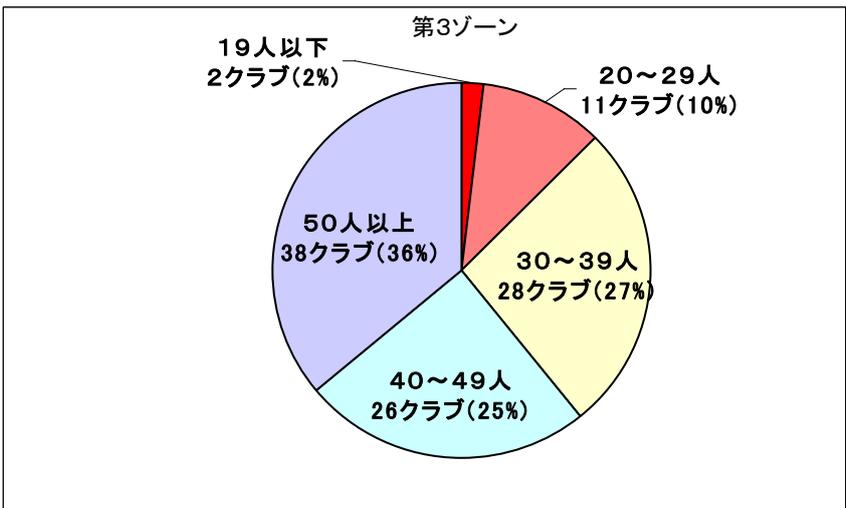
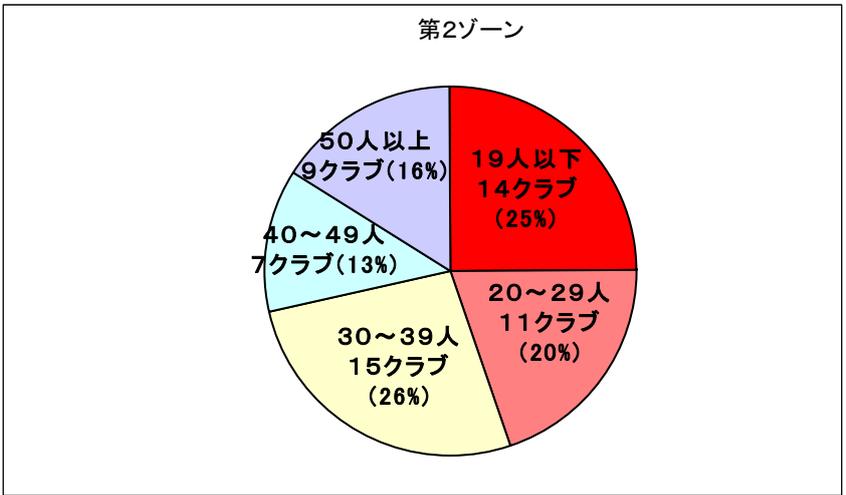
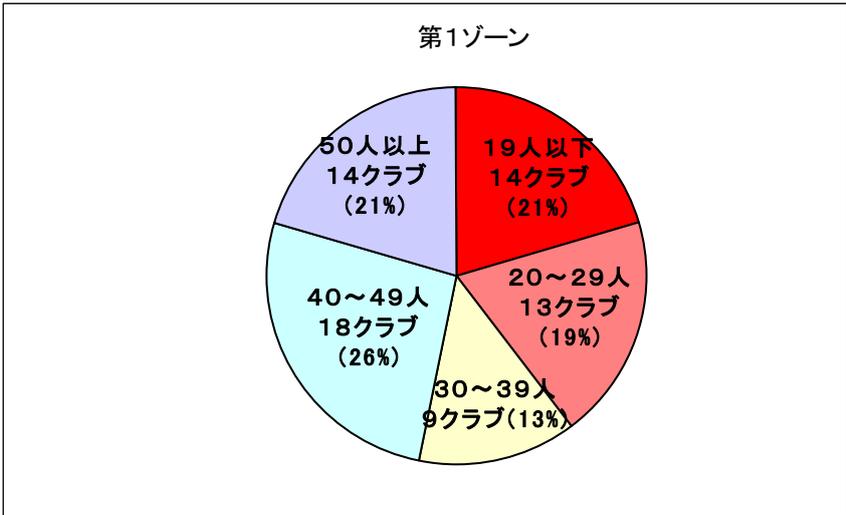
2650 地区は、85%のクラブが CLP を実施している。



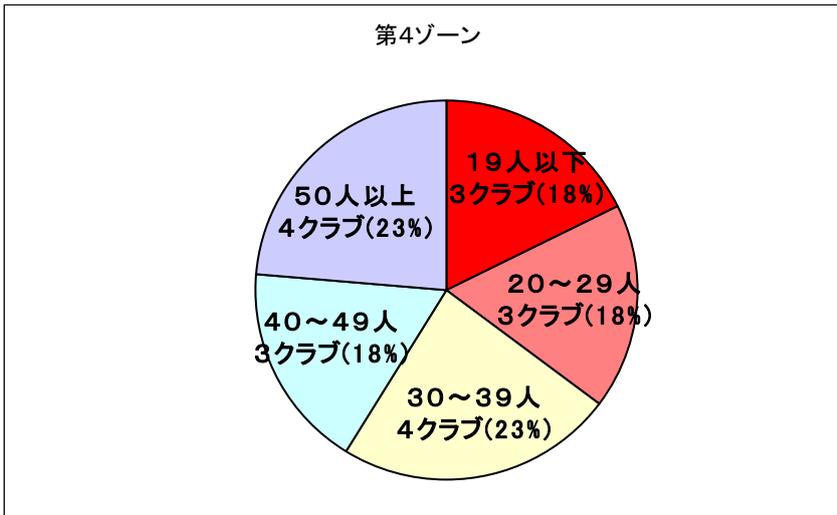
3) 日本のクラブ全体でみたCLP導入状況



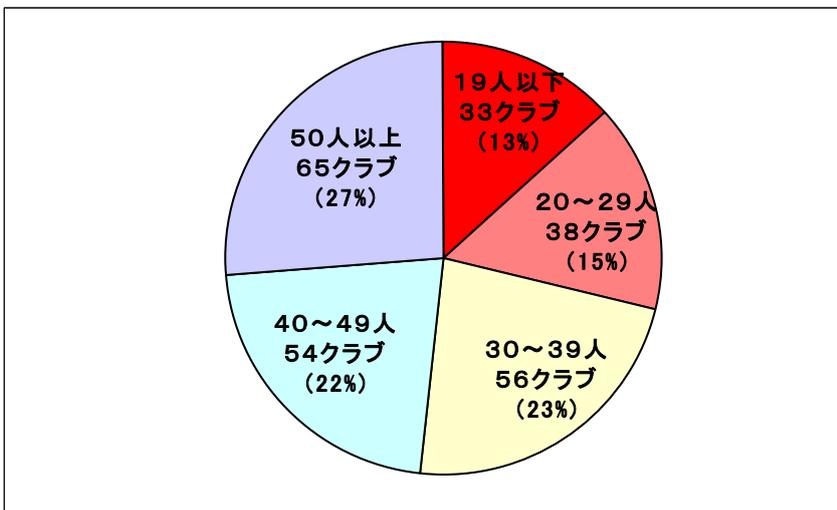
4) CLP を導入したクラブについて、導入時の会員数別のクラブ数



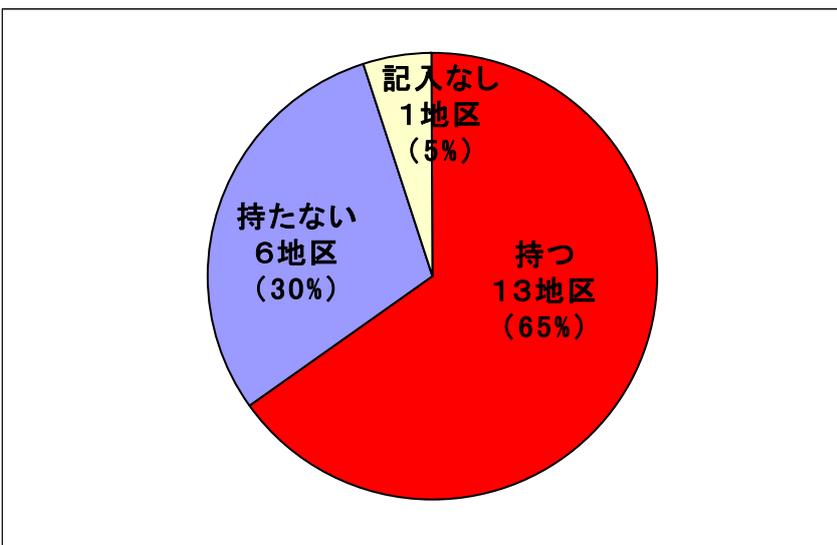
第3ゾーンで会員数19人以下のクラブのCLP導入率が少ないのは、クラブの会員数が多い2650地区で85%CLP導入している影響と推察される。



5) 日本全体の CLP 導入会員数別クラブ



6) R I の推奨委員会構成と異なるクラブ委員会組織を設置したクラブをもつ地区



<前橋 RC の取り組み>

RI 第 2840 地区の前橋 RC の取り組みを紹介する。前橋 RC は 2003-04 年度にクラブ創立 50 周年として、21 世紀特別委員会を設立し、「会員満足度アンケート」「クラブ活力テスト」を活用して、クラブの理想像・会員の理想像を求めた。2004-05 年度は、①委員会の活性化、②組織の活性化、③社会奉仕と広報の 3 分科会で議論。2005-06 年度は、CLP の検討、クラブの現状に合わせたクラブ細則改定、委員会構成の検討、理事・役員を選考方法の検討を行い、「会員満足度アンケート」「ビジョンアンケート」を用いて会員歴別によるクラブのあるべき姿を語る懇談会を開催し、2006 年 6 月 20 日、下記の新クラブ細則を決定した。

第 1 節 常設部門・委員会の設置

会員組織強化部門

クラブ広報部門

クラブ管理運営部門

職業奉仕・奉仕理念部門

社会奉仕プロジェクト部門

国際奉仕プロジェクト部門

奨学事業部門

<第 35 回ロータリー・ゾーン研究会 分科会 5「CLP」>

2006 年 11 月 25 日第 35 回ロータリー・ゾーン 研究会の分科会 5「CLP」は、パネリスト：RI 第 2640 地区 中島治一郎 PDG（泉大津）、RI 第 2550 地区 村上肇 PDG（宇都宮西）、レポーター：RI 第 2770 地区 田中徹夫 PDG（岩槻東）、特別発言者：RI 第 2630 地区 松本裕夫 PCP（鈴鹿西）、RI 第 2550 地区 鈴木 宏 PCP（宇都宮北）（特別発言者とは、2005-06 年度から CLP を実施したクラブの past 会長で直接 CLP 施行に携わった方。）、そしてモデレーター：RI 第 2640 地区 成川守彦 PDG(有田) で開催した。

その中で、松本裕夫氏は、「CLP は、私どもは手段であって目的とは思っておりません。

目的はロータリーの綱領の実現 CLP は四大奉仕をベースにしてこそ成り立つ。四大奉仕なくして、CLP はあり得ない。『ジャパナイゼーション (Japanization ; 日本化)』、日本の独特の CLP を作りたい。」と述べられた。他方、鈴木 宏氏（宇都宮北）は、「『CLP』は、クラブの自主性を尊重して、創立年数、会員数、地域差にかかわらず、身の丈にあったクラブ運営と組織作りを基本として、ロータリー運動を理解し、前向きに取り組もうということではないか。委員会構成の見直し委員会として職業奉仕を持ったほうがいいのではないか。」と発言された。

<私の提案>

私は、前橋RCの「会員満足度アンケート」「クラブ活力テスト」を活用して、1年から2年かけて時間を掛けて、全会員の参加の下、クラブのあるべき姿を語る懇談会を開催し、自クラブに相応しいクラブ細則の採用をお奨めする。

<支援資料>

「クラブ・リーダーシップ・プラン」(245-JA)
「クラブ・リーダーシップ・プランの方針」
「推奨ロータリー・クラブ細則」
「ロータリーの指導者育成サイクル」
「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」 「クラブ訪問報告用紙」
前橋RC：「会員満足度アンケート」「クラブ活力テスト」



クラブを訪問して

IM7組 ガバナー補佐
小林 英樹 (高師浜RC)



私の担当はIM7組で、高石、羽衣、大阪金剛、高師浜の4クラブです。

各クラブとも同じような活動をしていると思っておりましたが、事業計画を拝見し、それぞれが素晴らしい特長のある活動をしていることに驚きました。クラブ協議会として4クラブを訪問させていただきましたのは、秋の気配が強まりつつある9月下旬でした。

最初に9月21日に大阪金剛RCを訪問させていただきました。こちらの特長は清掃活動として狭山池クリーンアクションに参加したり、青少年健全育成として狭山青少年フェスタ2006に中学校・高等学校吹奏楽部と狭山フィルハーモニックオーケストラが参加して演奏を行なうなど地域に密着した社会奉仕活動及び国内4クラブ(大阪金剛RC・宇城RC・阿波徳島RC・阿南中央RC)が友好親善関係にあることです。

次に9月26日に高石RCを訪問させていただきました。創立40周年という伝統あるクラブであり青少年育成に力を入れておられます。2640地区76クラブ中インターアクト(清風南海学園・羽衣学園)の2校を支援しておられます。2640地区の中に2校を支援しているクラブは他にはありません。

9月28日に訪問したのは私の所属する高師浜RCです。社会奉仕として市民ふれあいウォーク(600名参加)、高石市の小学3~4年生に模型飛行機の製作と実践を開催し大変好評を博しております。国際奉仕では韓国昌原RCとの姉妹提携をしております。

最後に9月28日に羽衣RCを訪問させていただきました。4名の短期交換派遣学生と2名の長期派遣学生の受入の実施など青少年交流に力を入れて効果を挙げておられます。また北中委員長が青少年問題のプロフェッショナルで、長年真剣に取り組んで、多くの実績を残しておられます。

特に地区職業奉仕委員会の角谷浩二委員長はクラブ職業奉仕委員長会議報告「職業奉仕とは何か」の中で「職業奉仕とは、職業倫理の運動であり、世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むべし」とし、国際ロータリーの職業奉仕、社会奉仕をCLPでは「奉仕プロジェクト」部門の小委員会とする考え方に疑問を呈し、「職業奉仕なくしてロータリーはありえない」と言う言葉で締めくくられており、非常に感銘を受けました。

ロータリークラブで多くの人と知り合い、三軒ガバナーのご指導の下に仕事をご一緒させていただいていることに、大変感謝しております。

最後になりましたが、ガバナー補佐として皆様のご協力に感謝するとともに、暖かい応対をいただいた皆様に心より御礼を申し上げます。

ガバナー補佐雑感

I M 7 組 ガバナー補佐
嶋田 繁 (泉大津R C)



昨年2月、I M 7組のガバナー補佐に選出され早や1年が過ぎました。

当初、クラブ内でガバナー補佐の有資格者の中で、一番ロータリー歴が浅くとまどいを覚え、果して勤まるかなと危惧しました。しかし、2007～2008年度のガバナーにノミネートされた平原祥彰氏の経歴を見てびっくりしました。何と、年令、ロータリー入会年度、クラブ幹事、会長年度が私と全く同じなのです。同じ条件の方が、ガバナーをされるのにそんな弱気な事を言っておれず、この際、今一度ロータリーを勉強仕直して任務を全うしようと決意しました。そして2月に始まったガバナー補佐研修会議を皮切りに、9月迄続いたペッツ、地区協議会、地区委員会等に皆出席し、いろいろ勉強させていただきました。

私の担当クラブは、和泉、和泉南、忠岡、泉大津の4クラブです。各クラブ共、訪問の際暖かく迎えていただき、私の失礼とも取れる発言を受け入れていただき有難うございました。

和泉R Cはこの度、勝野露観氏が2008～2009年度のガバナーにノミネートされ、非常に意欲を感じました。勝野ガバナー年度に向けてそれ迄の2年間、地区の全委員長を卓話に招かれ、又、勝野さん自身も次年度ガバナー補佐を兼任され、クラブ一丸となってガバナー年度を迎える心構えが感じられました。

和泉南R Cは、昼夜交互の変則例会ですが、その利点出席率に反映されているようには思いませんでした。しかし、会員の平均年令が若く奉仕活動、特にW C Sは海外姉妹クラブとの提携で素晴らしいものがあり、親睦活動も順調のようです。

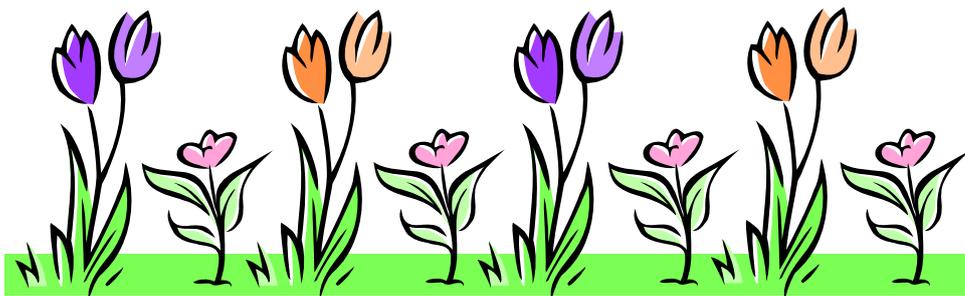
忠岡R Cは、少人数のためマイクを必要とせず、アットホームな例会で非常に親しみ易いとその割りに出席率がよくなく、6年以上新入会員がないのが気にかかります。

泉大津R Cは、ホームクラブだけに書きづらいが、創立51年目のクラブだけあって重厚でドッシリした感じを受ける反面、奉仕活動がマンネリ化しており新鮮味に欠けるきらいがあります。

社会奉仕、W C Sに関しては、各クラブ共独特の活動をされており非常に参考になりました。そして、各クラブ共通の悩みは会員減少と出席率の低下にありました。両者はあつてはならない事ですが、相矛盾することになりつつあります。出席をうるさく言うと会員が集ま

りにくく、退会に結びつき易い。といってもルールはルールであり、各クラブはもとより、今後のロータリーの悩みの種のようなのです。

任期はあと5ヶ月弱、残された大きな仕事は、地区大会、IM7組の会長幹事懇談会、各クラブの最終アッセンブリーとガバナーへの報告だけになりました。この任務を何とか全うしたいと思っておりますが、ここまでの各クラブの会長幹事様を始め、皆様方の御協力を感謝すると共に今後共、よろしくお願い致します。



クラブ事務職員 I T 研修会

I T 委員長 寺下 卓

2006-2007 年度の I T 委員会事業として、2007 年 2 月 6 日(火)・7 日(水)・8 日(木)の 3 日間、ガバナー事務所会議室で、「クラブ事務職員 I T 研修会」を開催いたしました。

当地区の各クラブの事務職員の皆さんには、遠方からも多くのご参加をいただき、誠に有難うございました。合計 57 クラブの事務職員の皆さんに受講いただきました。研修内容は、「ホームページの活用」「スカイプの活用」

「週報(Word Acrobat 等)の活用」「名簿、会計(Excel)の活用」と事前にご要望のあったパソコン操作について、ご説明させていただきました。クラブ事務職員 I T 研修会の開催につきましては、今期の委員長会議の中でご要望もいただいております、受講いただいた皆さんには、終始、熱心にパソコンと向き合い実習していただきました。



研修会には、三軒ガバナーから「ロータリーの活動は、皆さんの力が必要です。I T の技術をマスターしていただき、各クラブの運営に貢献してください」とあいさつがあり、受講した事務職員の皆さんも意欲的に勉

強していただきました。研修のポイントは、情報の所在をタイムリーに如何に早く見つけ出し、取り込むテクニックを身に付けることで、各種のソフトを組み合わせ、情報をゲットし、編集・加工することを学んでいただきました。また、WCS や友好・姉妹クラブとの国際交流における外国語のメールやホームページの翻訳やスカイプの活用法、ワードやエクセルによるデータ処理、文字、図形の取り扱い等を紹介させていただきました。

I T 委員会では、重点項目として、ホームページの活用を中心に①地区のロータリー情報の伝達、提供②ロータリー活動の PR、広報③各クラブの情報交流④地区内部組織での活用⑤事務局の情報 Infoseek.url 支援、事務の合理化を掲げており、積極的な I T 活用によって、ロータリー組織が円滑に運営され、さらに活発な事業展開を推進することを目指しています。

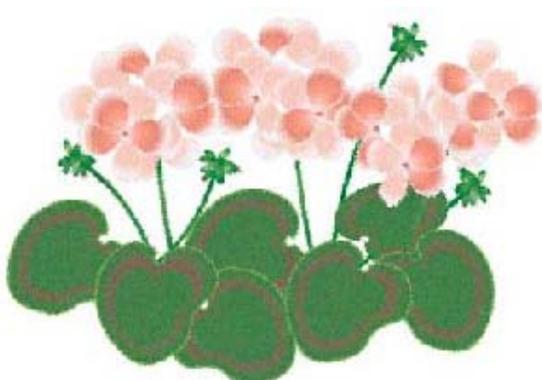
特に今年度は、各クラブ紹介や活動紹介で多くの情報提供をいただき、ページの充実を図ることができました。また、各委員会の活動におきましても、青少年交換プログラムや WCS、財団学生の募集など、要望のある事業活動については、単独ホームページを掲載するほか、米山奨学会のメーリングリストの運営や各委員会で積極的にご活用いただいております。

ロータリーの I T 推進は、今後、ますます重要になると思われれます。I T 委員会では、今後、過去・現在・未来と大切なロータリー情報を電子情報で保存、蓄積するといった重要な役割も担っています。引き続き、各クラブのご理解とご協力をお願い申し上げます。

新入会員紹介

1 月	
 <p>やまだまさかず 山田勝和 所属クラブ：有田2000RC 職業分類：仏具製造 生年月日：1969年6月15日</p>	 <p>なかいゆういち 中井勇一 所属クラブ：藤井寺RC 職業分類：コンクリート製品製造 生年月日：1972年5月2日</p>
 <p>つじ としゆき 辻 俊之 所属クラブ：橋本RC 職業分類：石材加工 生年月日：1981年3月11日</p>	
 <p>ふくもとりつお 福本立夫 所属クラブ：和泉RC 職業分類：合成樹脂加工 生年月日：1952年1月1日</p>	 <p>おくむら まさる 奥村 勝 所属クラブ：和泉RC 職業分類：不動産賃貸 生年月日：1953年1月6日</p>
 <p>やました はじめ 山下 肇 所属クラブ：泉大津RC 職業分類：ホテル 生年月日：1960年10月17日</p>	 <p>たけだ ひろし 武田 浩 所属クラブ：岸和田東RC 職業分類：料理店 生年月日：1966年1月12日</p>
 <p>かわいとしあき 川合利明 所属クラブ：岸和田北RC 職業分類：婦人服店 生年月日：1946年3月3日</p>	 <p>しおやけいち 塩谷圭一 所属クラブ：堺北RC 職業分類：生命保険業 生年月日：1963年3月15日</p>
 <p>むらせよしかず 村瀬義一 所属クラブ：堺清陵RC 職業分類：酒類業務用卸 生年月日：1926年3月30日</p>	 <p>やまもと たもつ 山本 保 所属クラブ：堺東南RC 職業分類：自動車修理 生年月日：1966年2月28日</p>
 <p>なかむら ひろし 中村 寛 所属クラブ：白浜RC 職業分類：ビルディング管理 生年月日：1963年7月29日</p>	 <p>まつもと あきら 松本 哲 所属クラブ：田辺RC 職業分類：包装資材販売 生年月日：1965年7月29日</p>

 <p>まさごちとる 真砂千執 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：岩盤浴 生年月日：1967年5月25日</p>	 <p>ひしだともひと 菱田智仁 所属クラブ：田辺はまゆうRC 職業分類：木造建築加工業 生年月日：1970年7月2日</p>
 <p>木下準一 所属クラブ：和歌山RC 職業分類：損害保険 生年月日：1945年7月20日</p>	 <p>みやさかたけし 宮坂武志 所属クラブ：和歌山東RC 職業分類：仏壇販売 生年月日：1972年2月16日</p>
 <p>たけだしんすけ 武田慎介 所属クラブ：和歌山東RC 職業分類：幼稚園 生年月日：1966年7月28日</p>	



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



びとう しょうへい
尾藤 昌平様 (和歌山南RC)

2006年12月24日死去
在籍期間：45年8ヶ月 (チャーターメンバー)
職業分類：スポーツ振興財団
ポールハリスフェロー：
ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 3回
米山功労者：米山功労 3回
生年月日：1931年4月1日



しおじ こういち
塩路 浩一様 (御坊RC)

2007年1月21日死去
在籍期間：46年
2005年7月1日～名誉会員
職業分類：信用金庫
ポールハリスフェロー：マルチプルフェロー
(累計\$2,400)
米山功労者：13回 (米山累計 370,000)
生年月日：大正3年5月31日



まつばら やすお
松原 康夫様 (堺中RC)

2007年1月12日死去
在籍期間：13年
名誉会員2年9ヶ月
職業分類：経営士
ポールハリスフェロー：1回
米山功労者：1回
生年月日：1928年1月13日

PHF・ベネファクター（1月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
酒向 征時	BE	橋本	川口 光國		岸和田
平林 國男	2	橋本	雪本 栄		岸和田
狩谷 功	4	橋本	落合 良生	BE	松原
小西 捷治	2	橋本	南川 正一		堺泉ヶ丘
松岡 弘治	4	橋本	新井 茂文	BE	堺北
松本 公望		橋本	富田 康則		堺中
森下 章久		橋本	松岡 晋	5	堺西
中村 嘉宏		橋本	濱口 正義	大口	堺西
中谷 和史		橋本	植木 重文	3	堺おおいずみ
中西 栄市	2	橋本	小林 英樹	4	高師浜
奥田 義之	4	橋本	廣田 俊樹		和歌山城南
曾和 正	1	橋本	井手 良明	2	和歌山城南
曾和 宏之		橋本	中芝 康順		和歌山城南
吉田 裕	7	橋本	浦口 英尚		和歌山城南
柳生 享男		海南東	山名 充行		和歌山城南

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者 (1 月 分)

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
八尾 清隆	2	羽曳野	田端 順造	1	和歌山アゼリア
高橋 重明	1	大阪金剛	楠見 恭平	1	和歌山南

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま 84号 ★ 2007年2月13日発行

：：今月のトピックス：：

1. 寄付金速報 — 下期は順調にスタート —
2. 新年を迎えての所感 — 宮崎幸雄専務理事 —
3. 2007 学年度の米山奨学生が決定！
4. インターアクターと韓国米山学友会が交流 — 第2780地区 —
5. 子どもたちがアジア文化と出合う“場”を
— 千代鳥(チョウドリ)モーミン・ウッディンさん —

文庫通信 (234号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの源流

- ◎「奉仕こそわがつとめ」 R. I. 1979 140p
- ◎「奉仕の冒険」 R. I. 1981 130p
- ◎「平和への七つの道」 R. I. 1959 118p
- ◎「われらのつどいーロータリー物語(1)」 直木太一郎 神戸 R.C. 1964 99p
- ◎「世界と共にーロータリー物語(2)」 直木太一郎 神戸 R.C. 1965 129p

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

- ◎「ロータリーの理想と友愛」 ポール P. ハリス著；米山梅吉訳 1978 295p
- ◎「ロータリー・モザイク」 ハロルド T. トーマス著；松本兼二郎訳 1977 327p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

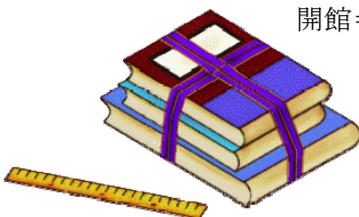
〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



第2640地区 出席報告 (2007年1月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	1月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	1月出席率	平均出席率
	05.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計					05.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計			
有田	40	40	0	1	0	1	3	81.48	89.24	大阪狭山	6	6	0	0	0	0	4	85.00	81.50
有田南	43	41	0	0	0	2	4	89.87	90.78	りんくう泉佐野	27	27	0	0	0	0	4	79.23	83.51
有田2000	19	20	1	1	0	0	4	78.75	79.92	堺	80	77	0	1	0	4	3	89.12	90.92
藤井寺	13	14	1	1	0	0	3	90.46	89.41	堺東	32	34	0	2	0	0	4	99.14	98.25
藤井寺しゅら	17	17	0	0	0	0	3	91.70	92.30	堺北西	19	18	0	1	0	2	4	74.99	73.84
御坊	57	58	0	1	0	0	4	83.33	85.31	堺泉ヶ丘	24	24	0	1	0	1	4	97.83	91.88
御坊東	20	20	0	0	0	0	4	82.50	87.65	堺北	42	42	1	3	1	3	5	85.34	83.00
御坊南	34	35	0	1	0	0	4	85.29	88.55	堺南	39	39	0	2	0	2	3	91.67	89.73
羽曳野	31	31	0	2	2	2	4	93.00	94.69	堺中	33	32	0	0	0	1	5	67.69	65.62
羽衣	25	26	0	1	0	0	3	61.30	81.80	堺南西	4	5	0	1	0	0	4	100	80.00
阪南	20	18	0	1	0	3	4	80.55	75.70	堺西	26	26	0	1	0	1	3	92.98	94.30
橋本	53	55	1	4	0	2	3	93.20	91.25	堺おおいずみ	35	35	0	1	0	1	4	100	97.95
橋本紀ノ川	24	24	0	0	0	0	4	84.70	90.30	堺フェニクス	27	31	0	5	0	1	3	82.54	84.37
岩出	30	32	0	2	0	0	3	90.18	92.40	堺清陵	24	24	1	1	0	1	4	95.24	95.71
和泉	37	40	2	3	0	0	4	86.86	87.31	堺泉北	20	19	0	0	0	1	3	87.66	84.83
和泉南	36	35	0	1	0	2	3	64.70	60.56	堺東南	14	16	1	3	0	1	4	93.75	92.13
泉大津	51	51	1	2	0	2	3	81.04	77.39	泉南	24	23	0	0	0	1	3	80.95	82.70
泉佐野	37	36	0	3	0	4	3	90.48	92.68	新宮	62	60	0	1	0	3	4	84.67	84.73
海南	51	50	0	0	0	1	4	74.12	81.50	白浜	17	17	1	1	0	1	3	95.55	91.35
海南東	71	71	0	0	0	0	3	83.33	83.06	忠岡	16	16	0	0	0	0	3	75.76	73.03
海南西	24	24	0	0	0	0	3	82.50	84.41	太子	6	4	0	0	0	2	3	85.33	49.40
貝塚	25	23	0	0	0	2	4	100	97.94	高石	36	36	0	1	0	1	4	71.29	72.73
貝塚コスモス	21	22	0	1	0	0	4	94.74	92.58	高師浜	21	20	0	2	0	3	3	83.33	83.88
関西国際空港	37	39	0	3	0	1	4	73.68	70.15	田辺	87	88	1	2	0	1	3	93.33	91.95
河内長野	31	31	0	2	0	2	0	85.60	83.90	田辺はまゆう	32	41	2	11	0	2	0	78.84	78.77
河内長野東	28	30	0	4	0	2	4	91.88	91.68	田辺東	48	49	0	1	0	0	4	90.21	91.59
岸和田	56	56	0	2	0	2	4	85.30	86.87	富田林	37	37	0	0	0	0	3	77.78	77.91
岸和田東	61	58	1	1	2	4	3	90.20	93.45	富田林南	22	22	0	0	0	0	3	92.59	87.50
岸和田北	32	32	1	1	0	1	4	96.55	96.08	打田	13	11	0	0	0	2	3	96.97	92.44
岸和田南	21	20	0	0	0	1	3	96.67	94.30	和歌山	69	75	1	8	1	2	4	89.03	90.47
粉河	27	24	0	1	0	4	4	84.38	84.95	和歌山アゼリア	50	50	0	5	0	5	3	91.48	79.49
高野山	26	27	0	1	0	0	3	83.00	88.70	和歌山東	60	62	2	3	0	1	3	87.30	90.50
串本	10	10	0	0	0	0	4	75.00	71.85	和歌山城南	40	43	0	4	0	1	3	87.72	87.48
松原	46	43	0	2	1	5	4	85.19	86.40	和歌山北	50	52	0	4	0	2	3	77.78	81.46
松原中	28	23	0	0	1	5	3	77.26	82.71	和歌山南	89	87	0	4	0	6	3	85.59	82.13
美原	23	24	0	2	0	1	3	92.10	92.00	和歌山中	34	34	1	1	0	1	3	80.25	81.75
那智勝浦	22	21	0	0	0	1	3	68.33	73.01	和歌山西	22	22	0	0	0	0	4	95.00	94.99
大阪金剛	33	34	0	1	0	0	3	73.59	88.23	和歌山東南	39	41	0	3	0	1	4	87.89	86.85

クラブ	7月1日クラブ会員数				1月末クラブ会員数				1月平均出席率	入会		退会	
	男性	2451	女性	135	男性	2458	女性	142		1月	累計	1月	累計
76	2586				2600				86.85	19	118	8	104

3 月 識字率向上月間

1日	(木)		
2日	(金)		
3日	(土)	RI会長賞・意義ある業績賞選考委員会 第4回諮問委員会	ホテルグランヴィア和歌山
4日	(日)	米山奨学生期間修了者歓送会	ホテルグランヴィア和歌山
5日	(月)		
6日	(火)		
7日	(水)		
8日	(木)		
9日	(金)		
10日	(土)		
11日	(日)	2007～08年度のための第2回PETS	ホテルグランヴィア和歌山
12日	(月)		
13日	(火)	関西国際空港RC創立10周年記念式典	関西国際空港第2滑走路
14日	(水)		
15日	(木)		
16日	(金)		
17日	(土)		
18日	(日)	泉南RC創立35周年記念例会	全日空ゲートタワーホテル大阪
19日	(月)		
20日	(火)		
21日	(水)		
22日	(木)	和歌山城南RC創立19周年記念例会	アバローム紀の国
23日	(金)		
24日	(土)	第4回財団奨学生オリエンテーション 地区青少年ライラ委員会会議	和歌山 JA ビル
25日	(日)	第2回クラブ青少年交換委員長会議	テクスピア大阪
26日	(月)		
27日	(火)		
28日	(水)		
29日	(木)		
30日	(金)		
31日	(土)		



国際ロータリー第2640地区
ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-mail info@rid2640g.org

U R L http://www.rid2640g.org/sangen/

勤務時間 9:00～17:00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 永島 龍弘

事務職員 山本千恵子 平田有紀子